

埼弓連だより

平成 29 年 11 月 30 日

第
60号

★発行事務局 〒359-0026 所沢市牛沼 250-19 (本橋民夫方) TEL・04-2995-3839

埼玉県弓道連盟総務委員会

埼玉県弓道連盟

公認資格認定制度について

会長 本橋民夫

全日本弓道連盟（以下「全弓連」という）では、「改革大綱」を定めて各種事業の改革を進めております。今回は、その中の公認資格認定制度の概要について紹介させていただきます。

全弓連では、平成 28 年度に「審査委員・審判委員・講師公認資格認定規程」を制定し、平成 30 年 4 月 1 日から施行します。この規程は、審査員、審判員及び講師の有資格者を認定し、各種事業の実施に当たってはこの有資格者を登用することになります。

公認資格は、「中央委員」と「地方委員」に分けられ、中央委員は八段以上の方が対象で全弓連が認定します。資格認定を受けるためには講師研修会を受けて、検定試験に合格する必要があります。年齢は、原則として満 80 歳までが対象で、中央、連合会、地方それぞれが行う審査会、競技会、講習会を担当することができ、有効期限は 1 年間です。

地方委員は七段以下を対象として各地連で認定します。資格認定を受けるためには全弓連が行う地区指導者講習会または、各地連が行う公認資格認定講習会に参加し、検定試験に合格する必要があります。地方委員は年齢による制限はありませんが、審査委員及び講師は称号受有者で審判委員は五段以上が対象です。

担当範囲は、連合会、地方それぞれが行う審査会、競技会、講習会を担当することができ、有効期限は 3 年です。

埼弓連では、本制度に対応すべく、29 年度は 70 名程度の方に「公認資格認定講習会」に出席して頂き、それぞれの資格を認定する予定です。

次年度以降はさらに多くの方々に当該資格を

取得して頂く予定です。

また、この公認資格認定に当たっては、日本体育協会（以下「日体協」という）が定めた「公認弓道指導員」等の資格を保有することが義務付けられています。ただし、特例として、平成 30 年 4 月 1 日現在満 70 歳以上の方は公認弓道指導員の資格保有の条件は免除されます。一方、70 歳未満で現在公認弓道指導員の資格を保有していない人については、全弓連会長の承認を得ることにより、平成 32 年度末まで資格保有を猶予されます。

この「公認弓道指導員」の制度は、日体協が認定する制度で、国民体育大会と深いかわりがあります。一例として、国民体育大会の監督はこの資格を有してしていることが義務付けられるようになりました。それに伴い、埼弓連としては主として国体関係者を対象に公認弓道指導員養成のための講習会を実施して、資格を取って頂きました。その後、全弓連からの公認弓道指導員資格取得の推奨があったことに加えて、全弓連の伝達講習会を受講することにより専門科目（実技講習）を免除して頂けるようになり、多くの方にこの資格を取って頂きました。

また、国体の実施種目については、定期的に見直しをされており、それはポイント制で選考されるようです。弓道競技は、一時期このポイント合計が下位にあり、隔年開催になりかねないという時期がありました。このポイントは、オリンピック種目には 300 点が与えられるようです。世界大会の有無、競技人口その他幅広い分野でのポイント制になっており、それらの合計点で国体開催の競技種目が決定されるようで

です。そのポイントの中に公認弓道指導員の資格保有者数も含まれています。近年、公認弓道指導員の資格保有者が増えたこと及びアンチドーピング機構に加入する等各種施策により、直近の国体競技種目の見直しの際には、弓道競技は比較的上位に位置したようです。従って、弓道競技は当分の間毎年開催される見込みです。

この公認資格認定制度については、全弓連主

催の事業及び県連主催の事業が該当し、各支部、各道場等で独自に実施する事業はこの制度に拘束されることはありません。なお、県大会の支部予選等につきましては、本制度に準じて実施して頂きたいと思えます。

わかりにくい点があったかもしれませんが、公認資格認定制度の概要説明をさせていただきました。

皆様のご協力をお願い致します。

祝

小宮 栄子 範士八段 生涯スポーツ功労賞受賞

このたび小宮栄子先生が生涯スポーツ功労賞を受賞されました。お祝いするとともに、先生のお喜びの声をお届けいたします。

平成 29 年度生涯スポーツ功労賞を受賞して

範士八段 小宮 栄子



平成 29 年 10 月 6 日、文部科学省において表記の受賞式がありました。

この賞の受賞通知を県や県連会長からお知らせをいただいた時、私は現在の年齢まで 58 年間も弓道を続けられたことや、周囲で支えて下さった方々のお顔が走馬灯のように浮び、

感謝の思いでいっぱいになりました。

私は高校二年生から弓道を始め、高校では関東大会入賞や全国大会技能賞等、二年間の間にすっかり弓の虜になってしまいました。

卒業後も勤務の傍ら、県立武道館で時間を工夫しながら稽古し、国体成年女子の選手として沢山の優勝や入賞を経験し、団体戦ならではの楽しい時間を過ごしました。

家庭に入り、子育てをしながら親族にも助けられて、全日本女子弓道選手権大会に出場し、最高得点や 2 位、3 位と入賞できました。

もっと上位を目指して奮起していた矢先に、平成 5 年、明治神宮至誠館弓道場での全日本女

子選手権大会の試合中に「左膝内側々副靭帯断裂、左右膝半月板損傷」の大怪我に見舞われました。自分の体力、筋力を過信して、無理な稽古をした為の祟りでした。

入院、手術、リハビリと血を吐くほどの辛い時期を乗り越えて、坐射で復活することが出来、坐射が出来る喜びと膝を曲げる痛みとの闘いの中、八段に挑戦し平成 9 年に合格することが出来ました。

平成 11 年には 56 才で範士を拝受し、感激と共に心新たに、弓道の精進を誓いました。

その後はこれまでのご恩返しを、県内は元より全国の皆様にお返しする為に、全日本弓道連盟の中央審査員や主任講師として、働かせていただいています。

動ける体を維持するために、自分なりの努力と懸命な治療をして下さるスポーツ診療膝専門医の協力を得て、現在に至っています。

私は弓によって苦い経験をいたしました、その後の弓道は今まで以上に「心」の支えとなりました。

勝敗ばかりを追いかけ、喜び、悲しんでいたころとは違い、弓をひけることの希望と生きる喜び、それが出来る環境と自分自身の体に感謝する毎日です。

私のこんな経験を生かして、指導の中では体を痛めない工夫や、立射の方々への体配や射に気を配っています。

今の生活環境の中では、足、腰が鍛えられず立射になる方が多くなっています。

私に与えられた役割は、立射の方への道を開き、痛みのわかる指導者になることだと考えています。

動くことの困難な体になっておりますが、今後も出来る限り、私の出来る指導を皆さんと共に

に歩んで参りたいと思っています。

私の願いは身体の痛みや、心の痛みのわかる指導者でありたい。

いただいた賞は、私個人のものではなく、一緒に頑張って下さる方や、影で支えて下さる方、そして笑顔で接して下さる皆さんのものであると心得、今後もしっかりと前を向いて歩んで行

きたいと思っています。

本来なら、お世話になった皆さんお一人お一人にお礼を申し上げるところですがこの誌面をお借りします。

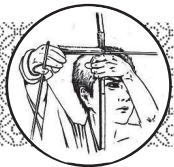
感謝の心で、
埼玉連の皆様 !! ありがとうございました。

小宮栄子範士の経歴

- [弓 歴]
- 昭和 34 年 6 月 熊谷女子高等学校弓道班に入る
 - 昭和 35 年 5 月 第 4 回関東高等学校弓道大会 4 位
 - " 8 月 第 5 回全国高等学校弓道大会 技能賞受賞
 - 昭和 39 年 5 月 森戸康之・久恵範士に師事
 - " 6 月 第 19 回国民体育大会 近的 4 位、遠的 3 位
 - 昭和 40 年 9 月 第 1 回東日本女子弓道大会 三段以上の部優勝
 - " 10 月 第 20 回国民体育大会 近的 4 位、遠的優勝
 - 昭和 41 年 6 月 第 2 回東日本女子弓道大会 三段以上の部 3 位
 - " 10 月 第 21 回国民体育大会 近的優勝、遠的優勝
 - 昭和 42 年 10 月 第 22 回国民体育大会 近的 4 位、遠的 2 位
 - 昭和 44 年 2 月 埼玉県武道館弓道会入会、伊沢千珠範士に師事
 - " 6 月 第 5 回東日本女子弓道大会 四段以上の部 2 位
 - " 10 月 錬士 昇格
 - " " 第 24 回国民体育大会 近的 4 位、遠的 4 位
 - 昭和 45 年 1 月 埼玉県武道館弓道講師を委嘱され現在に至る
 - " 6 月 第 6 回東日本女子弓道大会 称号授有者の部 3 位
 - 昭和 48 年 5 月 沖縄復帰記念国民体育大会 近的 4 位、遠的 4 位
 - " 10 月 第 28 回国民体育大会 近的 2 位、遠的 4 位
 - " " 全日本女子弓道選手権大会初出場、以降 14 回出場
 - 昭和 49 年 5 月 全日本弓道大会(京都)錬士の部優勝
 - " 6 月 第 10 回東日本女子弓道大会 称号授有者の部優勝
 - " 10 月 第 7 回全日本女子弓道選手権大会 3 位
 - " " 第 29 回国民体育大会 遠的優勝
 - " 11 月 六段 昇段
 - " " 明治神宮奉納射会 一般女子の部優勝
 - 昭和 50 年 5 月 教士 昇格
 - " 10 月 第 8 回全日本女子弓道選手権大会 2 位
 - 昭和 60 年 4 月 埼玉県立浦和東高等学校弓道部コーチ
 - " " 埼玉県弓道連盟 指導委員
 - 昭和 63 年 5 月 七段 昇段
 - 平成 2 年 5 月 全日本弓道大会(京都)女子の部 5 位
 - 平成 3 年 3 月 埼玉県体育功労賞受賞
 - " 4 月 埼玉県弓道連盟 指導委員会副委員長
 - 平成 9 年 5 月 八段 昇段
 - 平成 10 年 4 月 埼玉県立川口東高等学校弓道部コーチ
 - " " 全日本弓道連盟講師拝命
 - 平成 11 年 4 月 埼玉県弓道連盟 国体成年男子監督
 - 平成 11 年 5 月 全日本弓道連盟 範士
 - 平成 19 年 5 月 全日本弓道大会(京都)範士の部優秀賞
 - 平成 21 年 4 月 東京農業大学弓道部 師範



範士祝射会にて



専門委員会だより

総務委員会

委員会で毎回議題になる会員増加策

委員長 浅野 光子

前回発行の埼弓連だより 59号9ページ「埼弓連一般会員の推移」に私は強い衝撃を受けました。会員数が増えていないことは以前から問題になっていますが、人口構成を認識していませんでした。10年前は40才未満が857名、今549名、60才以上が1,193名、今1,562名。これは、もっと前からかもしれませんが、少なくとも10年前から若い会員が入ってこなかったことをうかがわせます。

埼弓連の10年後、20年後を考えて若い人の加入促進を検討することは急務です。少子高齢化がここまで影響しています。

体操・フィギュアスケート・卓球などの他競技は全国から才能ある子供を捜し、教育し、今日の好成績につなげています。

埼弓連の中にも若い人が多く集まる道場がいくつかあります。日曜夜教室を開催する、弓道場の閉館時間を夜10時に延長するといった事を実施した道場では効果があり若い会員が増えているそうです。閉館時間の延長は行政の理解を得られないと出来ません。とても難しい問題で、私達だけでは困難な事です。しかし多くの年代の人が利用しやすい方向に向かっていただきたいと思います。団塊の世代がリタイアし、昼間の利用者は増加しています。20年後30年後に激減しないよう、今から策を練っていかなくてはなりません。

また、高齢を理由に弓道会から離れる会員がおおいでになります。弓道でたくさんの事を学んで精神修養も身に付き、人と人の繋がりや心地よい人生をすごせる機会を失くさないよう、会員全体でサポートして行きたいと思っています。

弓道を始めた頃は、同期の仲間がいて初めて経験する事に一喜一憂しています。だんだん歳を重ねるごとに孤独になるものです。昇段だけを楽しみとした活動は、逆に苦しみとなってしまいます。

人それぞれの個性を大事にして人との繋がりを作り上げるチャンスが弓道にはあります。心引きつけることがあれば道はある、長い道ですがみんなで歩いて行きましょう。

総務委員会でも多くの会員さんが少しでも満足していただける様に委員会で話し合っています。

指導委員会

講習会の共通点

委員長 飯島 千代子

29年度の指導委員会の行事も大半が過ぎようとしています。4月15日に指導委員全員の研修会を松沢範士、小宮範士を講師にお迎えし、指導方針と気持ちを一つにスタートしました。

第一回の県講習会は4月16日から22日で曜日を分け5クラスで実施。292名の受講者。

第二回は5月14・19日も曜日を分け4クラスで実施。150名の受講者。

6月3・4日に、千葉市で行われた「関東北地区指導者講習会」は、来年度から始まる公認資格認定制度の理解を深めて地元の講師として活躍をして頂ける方10人が受講しました。

6月24・25日に、水戸市で行われた「関東北地区指導者育成講習会」は55歳以下の次世代を背負って頂ける方10人が受講しました。

伝達講習会は、例年1クラス80名前後になり指導が思うように進まない状態です。今年度は、公認資格認定制度の講習会を兼ねたクラスに87名、複雑な構成で理解しにくかったと思いますが通常のクラスでは9月10日から23日までの4日間に6クラスで284名の受講者がありました。

第三回は10月8日・17日に4クラスで実施、各クラス30名以下で内容の濃い充実した講習会であったと受講者の声が届きました。

今年度からは、適切な人数の割り振りの為、一人3回までの受講とさせていただきます。クラスも増やし少しでも皆様の修練の手助けになる指導ができるよう委員会も考えております。

四段以下の講習会は、各支部で実施することになっており、県の指導委員も要請がある支部には派遣しております。

栃木・群馬・埼玉の三県範教錬士会に15人、中央研修会には1人参加し、どの講習会でも共通は、教本一巻に則った基本のようでした。

範士研修会では、範士の先生方が並んで執弓の姿勢で歩行練習をしました。驚きませんか？いかに基本が大切かを学び伝えていく指導委員会でありたいと思っています。

競技委員会

事故防止 ヒヤリハットについて

委員長 岡芹 喜行

会員の皆様には県連競技大会等にご協力をいただき事故も無く、スムーズな運営が出来ますことに競技委員一同感謝申し上げます。

さて、今回は、試合当日に家を出て試合を行い帰宅するまでの間の事故防止「ヒヤリハット」についてです。ヒヤリハットとは、事故に遭いそうになった時「ヒヤリ」「ハット」した経験のこと。結果として大事に至らなかった経験なので、なかなか表面にはあらわれにくい。しかし、実際に事故に至る背後には、数多くの「ヒヤリハット」体験が潜んでいるとされ、事故を未然に防ぐためには、事故発生例だけを分析するのではなく、数多くの「ヒヤリハット」の体験実例を集め、そこから発生要因を分析し、防止策を立てる必要があるとされる。

そこで、危険な目に遭いそうになって、ヒヤリとしたり、ハットしたりしたことを上げてみます。

- 巻藁練習時に射った矢を抜かずに弓友と射技の話しを始めている人を見かけました。目の高さに矢があり、振り向いたときに当たる可能性があります。矢を抜いてから談義してください。
- 弓矢を持ち、二階への移動時に持った弓の角度により末弭が選手に当たりそうになった。また、階段を上り下りする時、袴を踏み、ころびそうになった。
- 行射中に赤旗を出さずに安土の矢取りに入ってしまう。
- 引分け途中で離れてしまい看的所方向に矢が飛んだ。
- 審査時、矢束一杯に引き込むのは良いが、手首引きまで加わり矢先が弓まで引き込んでいる。矢の長さは、射法八節図解の矢束の定め方を参照して下さい。

各道場により生活環境が異なり、社会や身のまわりに起こる事柄が潜んでいます。「一瞬の出来事」を未然に防ぐために各支部及び道場単位で話し合い、危ない施設は改修対処し事故を未然に防いで下さい。

国体選手強化委員会

愛媛国体報告と福井敦賀国体に向け

委員長 瀧上 三郎

今年の愛媛国体は例年より1ヵ月早い開催です。埼玉県は成年女子、少年女子の2種別参加となりました。少年女子チームは予選において遠的で1点、近的で1中の僅差で決勝に進むことが出来ず残念な結果でした。成年女子チームは近的には予選通過なりませんでしたが遠的において予選を突破し、決勝トーナメント1回戦で群馬県に勝ち、準決勝で優勝チームの静岡県に敗退、順位決定戦にて4位入賞の成績をもって愛媛国体を終了しました。選手強化のご協力と大きな応援ありがとうございました。



来年の福井敦賀国体に向け国体強化育成会を5回予定しています。昨年同様遠的強化を主に近的もレベルアップの育成目標です。埼玉代表チームの一員を目指す方々の参加を期待します。

育成会日程は下記の通り

10月7日・11月12日・12月3日・1月21日・2月11日
会場：県立武道館 9時集合

また国体選手選考会は第1回を3月10日に県立武道館で開催予定です。

特に成年男子は6年、国体出場権を逸しています。関東ブロック突破を第一目標に強い気持ちを持った方々の参加を期待いたします。

尚、国体選手候補を各支部、各道場よりのご推薦も併せて宜しくお願いいたします。

審査委員会

伝達事項とお願い

委員長 齋藤 安次

本年度より古泉利昭先生の後任として委員長を拝命いたしました。会長を始め多くの先生方にご指導・ご協力を賜りながら、6カ月間無事に審査業務を遂行することができましたことに、厚く御礼申し上げます。

以下、審査にかかわる伝達事項とお願いです。

<審査会運営上の伝達事項>

①審査の間合いについて

- ・ 高校生は、正しい間合いを指導するが、受審者多数のため、従来の「弦音打起し」の間合いで審査を行う事とします。
- ・ 一般に対しては、正規の間合いで実施します。但し、開始時刻・終了時刻等を総合的に判断し「弦音打起し」で実施する場合があります。会長の判断により決定し、各支部長経由で受審者に伝達します。

②傷害保険の加入について

- ・ 審査会として傷害保険に一括加入します。対象者は県内の審査委員・運営役員・受審者です。事故に遭遇された方は、速やかに事務局まで申し出て下さい。

<審査申込書の記入についてのお願い>

- ・ 審査申込用紙は記入例に沿って、正しく楷書で記入し、道場の審査受付担当者は、申込者のID番号の確認を徹底して下さい。

ID番号は読み間違えてデータ入力すると受審者名簿に別人の名前が入り、審査会場に行っても受審できない場合が発生します。特に1と7、6と4は丁寧に書いて下さい。

- ・ 級位は（一、二、三）と記入して下さい。段位は（初、弐、参、四、五・・・）と記入して下さい。
- ・ 一般道場所属の中学生・高校生・大学生は、A区分に○をつけて、B欄で「高校2年」等、学校・学年を記入して下さい。また、付箋も付けて下さい。
- ・ 右下の受審者連絡欄は内容を問わず「朱書き」して下さい。その場合、所属長発行の証明書を提出して下さい。但し、継続申請している場合は除きます。

女子部

女子部だより

部長 鷹巣 光子

女子会員の皆さま方6月11日に行ないました県女子部遠的大会に参加して頂きまして有難うございました。遠的大会の参加者は近的大会の三分の一位になりますので、もう少し参加者が増えることを望みます。女子の方はどちらかと言いますと遠的を敬遠なさる方が多いのですが、始めて頂けるとなかなか面白いものですよ！又、近的の離れに迷いが出ましたら遠的を引いてみるのも良いと思います。遠的は最初、的付けがお解りになりますと、今度は離れの強さ・矢筋の離れなどが関係してきますので一度経験なさったらと思います。女子部の遠的大会だから参加出来るとお話し下さる方々もおりますので、気おくれせずに挑戦してみてください。

第53回全日本女子弓道大会（東日本の部）青森大会は総勢361名で、埼玉は地元の青森に次ぐ52名の参加者でした。成績は四・五段の部で県央支部の須藤敦子さんが優勝・称号受有者の部で県央支部の小島節子先生が第3位・県南支部の鹿野信恵先生が第5位に入賞されました。

おめでとうございます！！

10月15日には、県女子弓道大会が行われました。この大会は来年の平成30年6月3日に予定しております第54回全日本女子弓道大会（東日本の部）埼玉大会のリハーサル大会を兼ねて行いました。後日、役員委嘱状をお送り致しますので、皆様方のご協力をお願い致します。

未熟な私を助けて下さい。

概略としまして

申込締切り日 埼玉県平成30年1月31日頃

武道館開場 7時30分

受付開始時間（有段者の部）7時40分～9時
（称号受有者）9時～10時

受付場所 主道場 横 ラウンジ

開会式 8時30分

競技開始 9時（最初に埼玉参段～五段の方）

参段～五段の有段者・称号受有者の2部門

矢数 4ッ矢 立射（800名目安、多い場合は変更あり）

矢渡・昼食休憩 無し と予定しておりますので大勢の方のご参加をお願い致します。

高 体 連

日頃の御支援に感謝申し上げます

委員長 山田 紀之

平成 29 年度の埼玉県高体連弓道専門部の加盟校数は 88 校であり、この数は愛知県、北海道について、全国 3 番目の数となっています。部員数においては、愛知県に次いで全国 2 番目、10 年前 3,200 名前後だった部員数が 29 年 6 月現在 3,600 名に迫る数となっています。

埼玉県では、高校生になって、初めて弓道を志す生徒がほとんどです。高校生活の中の大切な教育活動の一環としての部活動に、弓道を選んでくれた高校生に対して我々専門部の顧問の役割も、時代に即応したものが期待されているところです。

〈大会結果〉

●第 61 回関東高等学校弓道大会県予選会

平成 29 年 4 月 22 日 (土) 男子 455 名 女子 23 日 (日) 女子 460 名 大宮公園弓道場

○男子団体／①越ヶ谷 B35 中 (高鹿泰成・秋葉大値・伊藤弘樹・石橋彩人)②杉戸農業 A33 中 (堀佑輔・原田 凧・三浦祐貴・戸田慎也)③岩槻商業 B32 中 (三浦賢人・石井 玄・関根雄斗・鈴木 翔)④浦和 A32 中 (横山翔馬・増田拓馬・青山皓平・関 拓馬)

○女子団体／①深谷第一 C34 中 (吉野菜美・佐々木風音・柳 颯希・船木映里奈)②鳩ヶ谷 A33 中 (岡本暁音・與儀明日香・黒澤万史子・桑野里香)③岩槻商業 A32 中 (塚田 舞・中山 唯・田邊優実・河野志織)④川越総合 B31 中 (伊勢美紀・小野寺未来・大野茉莉香・工藤小明)

○男子個人／①湯浅公輔 8 中 (大宮光陵)②扇 颯馬 8 中 (市立浦和)③田路亮太 8 中 (浦和西)

○女子個人／①渡邊優奈 7 中 (川口東)②町田美涼 7 中 (与野)③村上樹里 7 中 (大宮南)

※男女団体各 4 位まで関東大会出場

●第 21 回県高校遠的選手権大会

平成 29 年 5 月 7 日 (日) 男女 県立武道館 予選 8 射決勝 8 射 合計 16 射得点制 男子 126 名 女子 127 名

○男子個人／①湯浅公輔 96 点 (大宮光陵)② 増田拓馬 92 点 (浦和)③横山翔馬 86 点 (浦和)

○女子個人／①坂倉佑香 76 点 (市立浦和)② 小澤優華 69 点 (飯能)③國井香菜子 67 点 (川越工業)

●第 61 回関東高等学校弓道大会

平成 29 年 6 月 2 日 (金) ~ 4 日 (日)

山梨県小瀬スポーツ公園武道館弓道場

○男子団体／②岩槻商業 (三浦賢人・矢部海斗・山根快斗・江原拓海)

※来年度推薦出場

○男子個人⑦横山翔馬 (浦和)

●学総体兼全国高校総体県予選会

平成 29 年 4 月 30 日 (日) 個人 1、2 次予選 大宮、上尾、日高、熊谷 6 月 10 日 (土) 女子 73 チーム 11 日 (日) 男子 72 チーム 団体 1、2 次予選 17 日 (土) 男女 団体個人 3 次、決勝 大宮公園弓道場

○女子団体／①草加西 (関根静香・高橋陽佳・北倉由惟・吉田真希・星 友香・盛武胡桃・岩淵奈々美)②大宮東 (藤塚梨央・柳橋初音・徳光晴奈・牧野由希・滝沢 萌・野田汐里・浜野果保)③坂戸西 (牧野凧沙・石井莉香・今野佳音・大木涼々花・大塚美侑・村田瑞季・安藤穂乃香)

④熊谷農業 (中村汐音・青木麗奈・増田一海・柴崎美紅・大沼愛花・田那部未羽・片桐穂乃香)

○男子団体／①浦和 (増田拓馬・青山皓平・宮本恭伸・関 拓馬・横山翔馬・三浦友規・石田優太)②伊奈学園 (飯塚陸斗・渡邊 凜・小室陽奈多・町田温輝・松元優介・大塚隆太・小指一真)③川越 (江波戸優真・岡田武流・杉田快斗・水田瑛吉・坂本滉桜・森田雄介・北川圭祐)

④岩槻商業 (関根雄斗・矢部海斗・山根快斗・江原拓海・三浦賢人・鈴木 翔・小峰颯真)

○女子個人／①吉田真希 22 中 (草加西)②星友香 22 中 (草加西)③大澤 茜 21 中 (深谷第一)④山下莉奈 19 中 (滑川総合)

○男子個人／①宮本恭伸 21 中 (浦和)②鈴木隆介 21 中 (越谷東)③松元優介 21 中 (伊奈学園)

※男女団体各 1 位、女子個人 3・4 位 (1・2 位は団体出場のため繰り上げ) 男子個人 2・3 位 (1 位は団体出場のため繰り上げ) は本大会出場

●紫灘旗全国高校遠的弓道大会県予選会

平成 29 年 5 月 28 日 (日) 県立武道館 参加 男子 32 校 女子 30 校

○女子団体／①伊奈学園総合 15 中 (杉澤 梓、甲原未来、井上結衣、大倉 和)②飯能 14 中 (谷田真穂、小澤優華、佐野智美、沼田奈緒)

③川口東 13 中 (野木 瞳、渡邊優奈、金子萌七)

○男子団体／①浦和北 18 中 (川中琢瑠、小島 涼、新井功太郎、島崎拓巳)②川越総合 18 中 (田中大地、神山海斗、落合聖也、久木野幹生)

③正智深谷 16 中 (走尾優太、佐野広夢、稲原稜士)④坂戸西 15 中 (井上雄太、工藤留樹也、坂田 岬、森坪郁弥)⑤飯能 14 中 (小谷野颯斗、戸田舜一郎、小森そら)

※女子は上位 3 校と大宮光陵 (前年度入賞のため推薦出場) 男子は浦和北・正智深谷・飯能と浦和・岩槻商業・坂戸西・川越総合・東京農大第三 (前年度入賞等のため推薦出場) が、紫灘旗全国高校遠的弓道大会に出場

●第 72 回国民体育大会関東ブロック予選会

平成 29 年 7 月 22 日 (土) 23 (日)

ぐんま武道館弓道場

○少年男子/増田拓馬 (浦和) 田中大地 (川越総合) 湯浅公輔 (大宮光陵) 監督山田紀之 (川越総合) コーチ安田康一 (大宮光陵)

○少年女子/山下莉奈 (滑川総合) 小澤優華 (飯能) 井上結衣 (伊奈学園) 監督丸山康弘 (秩父農工科) コーチ鎌塚尚子 (伊奈学園)、小此木利樹 (滑川総合)

少年男子 近的 8 位 遠的 6 位 総合 8 位

少年女子 近的 3 位 遠的 2 位 総合 3 位

※少年女子 ブロック予選通過 本国内出場

●平成 29 年度全国高等学校総合体育大会弓道競技大会 第 62 回全国高等学校弓道大会

平成 29 年 8 月 1 日 (火) ~ 4 日 (金)

宮城県カメイアリーナ仙台特設弓道場

○女子団体/⑤草加西 (関根静香・高橋陽佳 北倉由惟・吉田真希・星 友香・岩渕奈々美)

●第 19 回紫灘旗高校弓道遠的大会

平成 29 年 8 月 19 日 (土) 20 日 (日)

久留米総合スポーツセンター特設射場

男子団体/⑤坂戸西 (井上雄太、工藤留樹也、坂田 岬、森坪郁弥)⑤浦和 (増田拓馬、石田優太、横山翔馬、三浦友規)

※両校は来年度推薦出場

●関東個人選手権選抜大会県予選会

平成 29 年 8 月 23 日 (水) 男子参加者 456 名

24 日 (木) 女子参加者 471 名

大宮公園弓道場

○男子個人/①折原幸希 (花咲徳栄)②荒木優太 (寄居城北)③長谷川征哉 (久喜北陽)④横山翔馬 (浦和)⑤坂田 岬 (坂戸西)⑥本多匠介 (川口北)⑦小島佑太 (大宮光陵)⑧渡邊 凜 (伊奈学園)⑨北川圭祐 (川越)⑩宮本恭伸 (浦和)

⑪井上響介 (花咲徳栄)⑫矢部海斗 (岩槻商業)

○女子個人/①安藤佳世 (春日部東)②鎌田春

海 (浦和西)③緑川歩花 (川越南)④伊藤和奏 (春日部女)⑤黛 美奈 (寄居城北)⑥水野藍央奈 (浦和一女)⑦富田愛月 (大宮光陵)⑧井上留衣 (武蔵越生)⑨照屋陽光 (浦和東)⑩小林優羽希 (深谷第一)⑪石井莉香 (坂戸西)⑫徳永夏未 (川口総合)

※男女各 12 名が本大会に出場

●第 72 回国民体育大会

平成 29 年 9 月 9 日 (土) ~ 12 日 (火)

愛媛県総合運動公園弓道場 特設遠的弓道場

○少年女子/近的予選 17 中 9 位

遠的 予選 107 点 9 位

※遠的、近的とも予選通過できず

●第 34 回関東個人選手権選抜大会

平成 29 年 9 月 16 日 (土) 17 (日)

東京都明治神宮至誠館中央道場

女子個人/③安藤佳世 (春日部東)

●新人大大会兼県体

平成 29 年 9 月 30 日 (土) 男子 10 月 1 日 (日)

女子 大宮公園 参加男子 426 名 女子 415 名

○男子団体/①寄居城北 A (新井勇翔・荒木優太・帆刈泰就・金井圭介)②三郷北 A (山田伊吹・豊田琉斗・中島誠人・鈴木魁人)③深谷第一 A (田上 翔・稲田光汰・岩出大和・島崎優也)

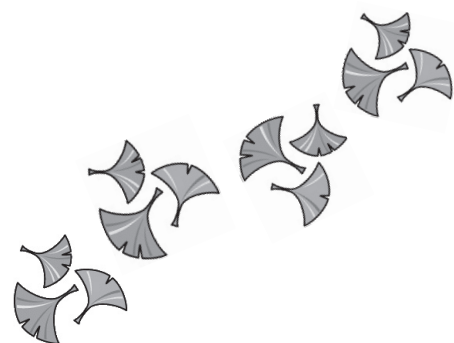
○女子団体/①草加西 A (吉田真希・岩渕奈々美・大津由楓・中村円香)②熊谷農業 A (中村汐音・片桐穂乃香・柴崎美紅・溝口真生)③狭山ヶ丘 B (道正美久・竹内伽奈・中里陽香・小林留奈)

○男子個人/①和田真澄 7 中 (星野)②齋藤龍滋 7 中 (草加西)③竹澤 翔 7 中 (坂戸西)

○女子個人/①藤田花那 7 中 (熊谷女子)

②溝越瑞葵 7 中 (春日部東)③天野紗希 7 中 (埼玉栄)

※男子団体 1, 2 位と川越総合 (前年度優勝で推薦)、女子団体 1, 2 位と坂戸西 (前年度優勝で推薦) は東日本高校弓道大会に出場



大会・射会入賞記録

●第132回明治神宮奉納遠的弓道大会

平成29年5月3日(土) 明治神宮至誠館第二弓道場

○五段以上の部：③室町純子(志木)

●埼玉県実年者弓道選手権大会兼ねりんピック県連予選会

平成29年5月16日(火) 参加者151名 埼玉県立武道館

○埼玉県実年者弓道選手権大会：①竹村銀郎(桶川)、②下田 徹(所沢)、③関口二郎(所沢)、④簡野肇平(新座)、⑤吉澤和代(小澤道場) ○県代表選手：①吉澤和代(小澤道場)、②関口二郎(所沢)、③簡野肇平(新座)、④三好啓子(所沢)、⑤熊井紀一(所沢)、⑥松本献一(日高)、⑦後藤 誠(三芳)、監督：簡野肇平(新座) ○さいたま市代表選手：①松田栄子(駒場)、②北野達夫(駒場)、③小澤伸江(大宮)、④軽込次男(岩槻)⑤鷹巣光子(駒場)、⑥上水流敦子(記念)、⑦川澄とし子(大宮)、監督：浅子好夫(大宮) ※平成29年9月6日～8日ねんりんピック秋田に出場(秋田県弓道場)

●埼玉県選手権大会(称号者の部)

平成29年5月20日(土) 参加者154名 埼玉県立武道館

①吉澤喜芳(啐啄道場)、②赤塚幾子(上尾)、③武政宏美(岩槻)、④清水繁子(岩槻)、⑤市川政子(入間)○全弓連会長楯争奪戦：吉澤喜芳(啐啄道場)

●埼玉県選手権大会(有段者の部)

平成29年5月21日(日) 参加者238名(うち参段以下92名、四・五段146名) 埼玉県立武道館

○三段以下の部 ①大石泰彦(狭山)、②小野寺佳祐(草加)、③岩崎建次(記念)、④冨澤英明(川口)、⑤引地靖子(所沢) ○四・五段の部 ①馬場信真(熊谷公園)、②鈴木真人(朝霞)、③沼沢睦美(越谷)、④桑原 忍(川越)、⑤中島英一(大宮) ○全弓連会長楯争奪戦：村永政志(川口)

●第13回女子部遠的弓道大会

平成29年6月11日 県立武道館弓道場 参加人数81名(有段者46名、称号者35名)

○有段者の部：①宮崎なつき(吉川)、②小野千絵美(記念)、③中村尚美(越谷)、④金子節子(駒場)、⑤昆 惠梨香(川口)○称号者の部：①鹿野信恵(越谷)、②松澤かおり(大宮)、③松田栄子(駒場)、④三好啓子(所沢)、⑤奥山ゆう(大宮) ○会長賞：宮崎なつき(吉川)

●第60回三県(群馬・埼玉・栃木)選抜弓道大会

平成29年6月18日(日) 栃木県宇都宮市弓道場 84名参加

○団体／(県対抗)：①栃木県(90中、60%)、②埼玉県(81中、54%)③群馬県(78中、52%)

○個人／○三段以下：①岩崎健次 ○称号者：①富永剛志、②岡芹喜行 ○特別参加：③出下晃一郎 ○国体選手成年女子：①金子節子、②昆 惠梨香

●第29回埼玉県弓道遠的選手権等大会

平成29年7月2日(日) 参加者144名 埼玉県立武道館

四段以下 女子 ①宮崎なつき(吉川)、②日向美智子(草加)、③奈良久美子(鴻巣)

五段以上 女子 ①室町純子(志木)、②中村尚美(越谷)、③小野千絵美(記念)

四段以下 男子 ①西屋優樹(川越)、②島倉康豪(吉川)、③吉川 学(日高)

五段以上 男子 ①吉澤喜芳(啐啄)、②馬場信真(熊谷運)、③仲田孝雄(上尾)

総合優勝：①室町純子(志木)

●第1回都道府県対抗弓道大会

平成29年7月18日(火) 日本武道館

出場選手○吉澤喜芳(啐啄)、富永剛志(上尾)、武政宏美(岩槻)、町田文利(横瀬)、市川政子(入間)

●第16回明治神宮崇敬会全国弓道大会

平成29年7月23日(日) 明治神宮至誠館第二弓道場

○個人戦：称号者の部 ④室町純子(志木)○四・五段の部：②簡野肇平(新座)○三段以下の部：①北野達夫 ③作野幸子(駒場)④河瀬博之(駒場)

●第 72 回国民体育大会関東ブロック予選会

平成 29 年 7 月 23 日 (日) 群馬県 A L S O K ぐんま武道館弓道場

◎少年女子／監督：丸山康弘 ((秩父農工科学)、コーチ：鎌塚尚子 (伊奈学園)、選手：山下莉奈 (滑川総合)、小澤優華 (飯能)、井上結衣 (伊那学園総合)◎成年／総監督：瀧上三郎 (吉川)、

◎成年女子／監督：鹿野信恵 (越谷)、選手：昆 恵梨香 (川口) 小野千絵美 (記念) 千葉なつき (吉川)

※少年女子、成年女子が第 72 回「愛顔 (えがお) つなぐ愛媛国体」出場権を獲得

●第 55 回埼玉県勤労者弓道選手権大会

平成 29 年 9 月 3 日 (日) 埼玉県立武道館弓道場 参加者 269 名 (89 団体+個人参加 6 名)

○団体の部：①久喜 E (千葉脩平、新里 陵、齋藤 満)、②本庄 A (中島 勇、佐藤敏勝、岡芹喜行)、③日高 B (吉澤武幸、吉田康宏、関 竹夫)、③狭山 B (武田宜久、木村幸史、加藤則康)

○個人の部：①千葉脩平 (久喜)、②長谷川雄志 (吉川)、③国分菊雄 (日高)、④若林 陵 (小澤道場)、⑤岡芹喜行 (本庄)、⑥前澤梨江 (春日部)、⑦新島 崇 (幸手)、⑧辻 敏治 (岩槻)、⑨久保田陽 (草加)、⑩石川成利 (大宮)

技能賞選考結果：相澤ゆかり (日高)、千葉脩平 (久喜)

●第 58 回関東地域弓道選抜選手権大会

平成 29 年 9 月 3 日 (日) 神奈川県立武道館弓道場

◎大会賞／◎称号者の部：②市川政子 (入間)、◎射技優秀賞：鹿野信恵 (越谷)

第 3 回世界大会日本団体代表選手選考会への代表選手 市川政子 (入間)

●第 72 回国民体育大会

平成 29 年 9 月 9 日 (土)～11 日 (月) 成年女子 遠的 4 位を獲得

●第 50 回全日本女子弓道選手権大会

平成 29 年 9 月 21 日 (金)～23 日 (日) 神宮弓道場 (伊勢市)

④室町純子 (志木)、◎優秀選手賞／鹿野信恵 (越谷)、市川政子 (入間)

出場選手：清水繁子 (岩槻)、武政宏美 (岩槻)、

●第 68 回全日本男子弓道選手権大会

平成 29 年 9 月 23 日 (日)～25 日 (火) 神宮弓道場 (伊勢市)

◎優秀選手賞／吉澤喜芳 (啞啄)、出場選手：浅野有三 (記念)

●第 30 回埼玉県民総合体育大会 【弓道競技 一般の部】

平成 29 年 9 月 24 日 (日) 県立武道館弓道場 参加者 245 名 (82チーム)

◎女子の部／◎近的団体：①吉川 (木内暁子、五十川実千恵、宮崎なつき)、②熊谷運動公園 A (吉田恵子、江田恵子、田本純子)、③日高 B (吉川 唯、篠原和子、中山政子) ◎遠的団体：①上尾 E (山ノ内昭子、濱田直子、村上節子)、②さいたま市 A (原田里美、小林安子、中島美佐子)、③さいたま市 C (小林ミワ、松田美紀、金子節子)

◎近的個人：①戸叶好代 (春日部 C)、②下村友香 (越谷 B)、③酒井幸恵 (毛呂山 A) ◎遠的個人：①原田里美 (さいたま市 A)、②金子節子 (さいたま市 A)、③濱田直子 (上尾 E)

◎三段以下の部／◎近的団体：①鶴ヶ島 A (小檜山清治、大山翔平、松井康久)、②さいたま市 E (佐野正和、作野幸子、田辺智子)、③横瀬町 (藤本 健、荒船京子、笠原甲子和) ◎遠的団体：①川口吉川連合 (尾崎尚志、高橋利夫、島倉康豪)、②飯能 B (金子貴一、榊原勝彌、横田圭司)、③熊谷運動公園 B (小島玄二、大嶋道雄、安藤 慧) ◎近的個人：①北野達夫 (さいたま市 D)、②田辺智子 (さいたま市 E)、③小檜山清治 (鶴ヶ島 A)

◎遠的個人：①高橋利夫 (川口吉川連合)、②尾崎尚志 (川口吉川連合)、③安藤 慧 (熊谷運動公園 B)

◎四・五段の部／◎近的団体：①久喜 F (千葉脩平、高野 聖、新里 陵)、②さいたま市 H (須藤啓介、松平健児、永江悠暉)、③春日部 I (荒木寛樹、篠原春次、各務勝洋) ◎遠的団体：①久喜 F (千葉脩平、高野 聖、新里 陵)、②熊谷運動公園 C (長井敦史、三澤一夫、馬場信真)、③所沢 N (中村徳海、関口研二、飯尾 弘)

◎近的個人：①馬場信真 (熊谷運動公園 C)、②中村尚美 (越谷 A)、③奈良久美子 (鴻巣 B) ◎遠的個人：①高野 聖 (久喜 F)、②長井敦史 (熊谷運動公園 C)、③佐野一義 (狭山 D)

◎称号者の部／◎近的団体：①小川日高 (安野雄次、坂東 文、国分菊雄)、②所沢 K (熊井紀一、平山夏子、下田 徹)、③秩父市 B (新井久慶、石田徳光、富田昌孝) ◎遠的団体：①さいたま市 K (松田栄子、松永芳栄、長安博之)、②秩父市 A (若林武司、黒沢 誠、守屋 豊)、③吉川草加連合 (鈴木多恵子、長久武平、豊田英子)

◎近的個人：①安野雄次 (小川日高)、②高橋好照 (上尾 N)、③坂東 文 (小川日高) ◎遠的個人：①鈴木多恵子 (吉川草加連合)、②守屋 豊 (秩父市 A)、③西崎明伸 (入間 E)

●第 53 回全日本女子弓道大会 (東日本の部)

平成 29 年 10 月 8 日 (日) 青森県武道館弓道場 参加者 331 名

◎四・五段の部：①須藤敦子 (大宮)◎称号者の部：③小島節子 (大宮)⑤鹿野信恵 (越谷)



画・松本 正

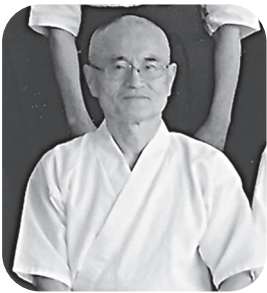


秩 父 支 部

支部長 石田 徳光

29 年度支部活動状況

支部長 石田 徳光



4月9日(日)支部定期総会が行なわれ、平成29年度が新たな体制にてスタートいたしました。

第4回地方審査が9月17日(日)に行なわれました。悪天候の中でしたが、関係者各位のおかげ

さまで無事終了することができました。ありがとうございました。

審査中、看的のドアのガラスに矢が当たり割れましたが、幸いけがもなくガラスの入れ替えだけですみました。どんな危険があるか予想外のことが起き、安全には万全の体制が必要であることを痛感させられました。

〈競技・講習会〉

●第1回カップ戦

4月16日(日)秩父第1弓道場 参加104名
中学生 ①齋藤蒼空②茶木海翔③黒澤溜欄
高校女子 ①春山季子②田島梨央奈③井上美羽
高校男子 ①明石太智②島崎真城③内海陽斐
一般女子 ①井上美根子②浅見陽子③加藤春美
一般男子 ①望月雄宜②丸山康弘③山崎文也

●第2回カップ戦

7月9日(日)秩父第1弓道場 参加73名
中学生 ①島崙江莉紗②内田藍菜③谷藤諒弥
高校生 ①齋藤花怜②島崙伸孔③島崎真城
一般女子 ①野原典子②吉澤和代③加藤春美
一般男子 ①丸山 彰②大野 直③若林 綾

●第3回カップ戦

8月6日(日)秩父第1弓道場 参加75名
中学生 ①井上奈穂②島崙江莉紗③浅見綾香

高校生 ①内海陽斐②宮下 歩③黒澤卓矢
一般女子 ①田野ヨシ子②大野きみ③浅見陽子
一般男子 ①守屋 豊②町田文利③若林 綾

●第4回カップ戦

9月10日(日)秩父第1弓道場 参加37名
近的 女子①井上美根子②引間彩子③加藤春美
男子①井上 誠②町田孝之③若林武司
遠的 ①浅見陽子②猪野 栄③大野宏之

●第59回県下三道大会

4月29日(土)秩父第1弓道場 参加313名
○中学生 団体①秩父市弓道スポーツ少年団E
②秩父市弓道スポーツ少年団B③所沢市弓道スポーツ少年団D 個人①原嶋柚葉(秩父市弓道スポーツ少年団D)②引間凧人(秩父市弓道スポーツ少年団C)③小池巧紘(秩父市弓道スポーツ少年団B)

○高校生 団体①寄居城北A②寄居城北C③所沢北D 個人①小森そら(飯能A)②落合聖也(川越総合C)③小澤優華(飯能C)

○一般 団体①所沢N②所沢E③人間C 個人①下田 徹(所沢N)②粕谷吉一(所沢K)③松崙 昇(所沢E)

●女子部射会

5月9日(日)秩父第1弓道場 参加13名
①吉澤和代②野原典子③田野ヨシ子

●女子部射会

8月20日(日)秩父第1弓道場 参加15名
①浅見陽子②酒井三佐子③野原典子

●寿射会

6月14日(水)横瀬弓道場 参加23名
①石田徳光②黒澤 誠③木村英一

●講習会〈四段以下〉

8月27日(日)秩父第1弓道場 参加10名
講師 戸塚藤代教士
入退から退場までの基本動作・射技指導

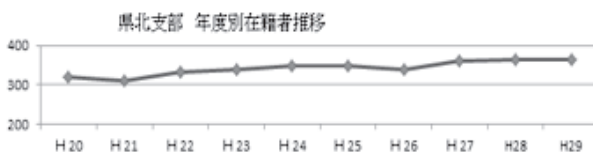
県北支部

支部長 高橋 久雄

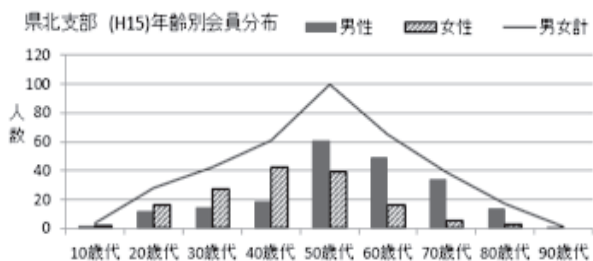
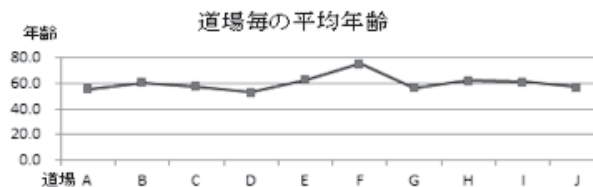
会員構成から見えるもの

支部長 高橋 久雄

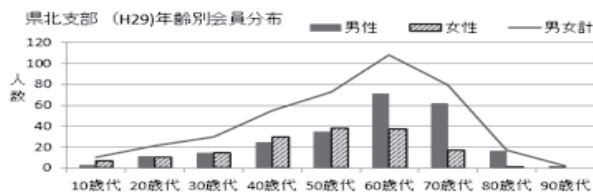
県連では少子高齢化問題に危機感を募らせていて、県北支部としても実情を調べてみました。県北支部の年度別会員数は、過去10年では数字上微増傾向に見えます。



但し、平成29年の道場毎の平均年齢は下図の通りで、男性60.7歳、女性52.1歳で、県北全体では57.3歳です。なお、平成15年は男性58歳、女性46.7歳で、全体53.2歳でした。



年齢別分布で、一番多い年代が平成15年(50代)に比べ平成29年は60歳代に移っている。



また、どちらも会員数は若年になるほど少ないが、平成29年度の60歳以下の数がより減少しています。下図は平成29年の構成比です。



データを整理することで、漠然としていたことがはっきり見えてきたと思います。現状を認識していただき、今後のための資料としていただけたらと思います。(県連登録会員から)

<競技・講習会>

●第一回支部カップ戦

平成29年5月28日(日) 行田市弓道場

参加96名、32チーム

団体①深谷BT-C:橋本和也、川久保真弓、會田春樹 ②深谷BT-B:小嶋一夫、片岡眞利、矢木研三

個人一部①近藤 香、②原 昌彦、③高木行治

二部①長井敦史、②山田 昇、③関口尚人

三部①山下広二、②片岡眞利、③掛田春雄

●第二回支部カップ戦

平成29年7月23日(日) 熊谷運動公園弓道場

参加121名、41チーム

団体①熊谷J:長井敦史、馬場信真、田本純子

②本庄E:佐藤敏勝、村岡昌美、中島 勇

個人一部①島村保男、②高木行治、③中島 勇

二部①馬場信真、②島崎崇光、③莊子宏幸

三部①山縣邦悠、②二宮一広、③安藤 慧

●第105回県北高校弓道大会

平成29年8月17日(休) 熊谷運動公園弓道場

参加15校272名(男子135名、女子137名)

男子優秀校:寄居城北高校

女子優秀校:深谷第一高校

個人男子①帆刈泰就、②荒木優太、③立石友紀

女子①佐々木あゆみ、②岩渕美早紀、③齋藤 葵

●第一回支部講習会(初段~四段)

平成29年4月30日(日) 本庄市弓道場

参加61名

講師:飯島千代子範士、高橋久雄教士

内容:基本の動作、審査方式、射技指導等

●第一回支部錬成会

平成29年6月7日(水) 深谷ビクタートル

弓道場 参加32名

講師:飯島千代子範士、正能正三教士

内容:審査方式、体配、射技指導等

●第二回支部講習会(二段~四段)

平成29年7月17日(月) 熊谷運動公園弓道場

参加42名

講師:浅野有三教士、浅野光子教士

内容:県伝達事項、審査方式、基本の動作、射技指導等

●第二回支部錬成会

平成29年9月6日(水) 本庄市弓道場

参加29名

講師:岡芹喜行教士、戸塚藤代教士

内容:審査方式、基本体、持的坐射礼、一つの坐射礼、射技指導等

●第三回支部講習会（初段～四段）

平成 29 年 10 月 7 日（土）寄居町立総合体育館弓道場 参加 46 名

講師：岡芹喜行教士、戸塚藤代教士

内容：矢渡、審査方式、射技指導等

東 部 支 部

支部長 北原きい子

上期活動報告

支部長 北原きい子

我が道場のハイテク機器

熊谷運動公園弓道会会長 手嶋 照晃

熊谷運動公園弓道場は、松沢岳範士のお膝元で、日々弓道に精進している会員が大勢います。今回は、我が道場のハイテク機器を紹介します。

通常、射技を行っている自分の姿は自分で確認する事が出来ません。以前は、姿見（大きな鏡）で射形を確認していましたが、鏡を見るために顔を戻した時の瞬間でしかなく、また射形を繕ってしまい正確さが望めませんでした。

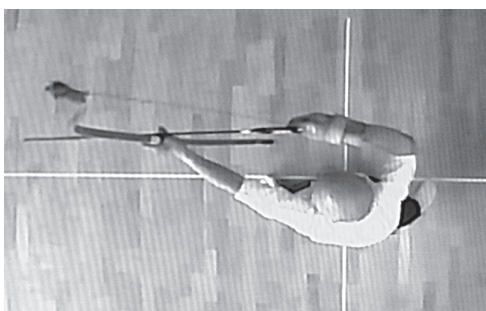
そこで、数年前からビデオカメラとモニターを脇正面に置き、体配や射技を録画し、その後再生して自分で射形を見る事が出来るようにしました。これで、いつでも誰でも自分の射を自分で確認できるようになり、今では射技の自覚に大いに役立っています。

また最近、大前の射位に、的からの線と直角をなす線（十文字線）を引き、その天井にカメラ（防犯カメラを代用）を配し、真上からの映像をモニタで見られるようにしました。この十文字線の位置で射技を行なうことで、的と矢の方向、矢と両肩、足先と肩の関係等がモニタでわかるようになりました。

ビデオカメラ・モニター・防犯カメラ、これが道場のハイテク機器？です。

ただ、残念なことに機器を使いこなせる会員、利用する会員が少ないことです。

今後は、前面と真上からの映像をどのように活用していくか、ソフト面が課題ですが、道場のハイテク化で大勢の会員の更なる向上につながることを望みます。



埼玉連の会員も女性が約半数を占める様になったとは言え、まだまだ弓道の世界では男社会だと思います。そんな中で支部長を引き受けるには、大きな勇気と決断を必要としました。支部の実情を考えると、頑なに固辞していて良いものだろうか・・・。

元支部長の根本先生が支部長退任の折「弓を引く事と同じと捉えて、支部長の仕事を務めてきた。」と話されました。今まで沢山の人に育てていただいた弓、70歳に手が届こうとしている今ならまだ少し恩返しができるかもしれない。弓を引くことの一部として、気負わず、精一杯自分のできる事をして、次に繋げていこう。と、ざわざわしていた心が決まりました。

新体制は、支部長のみならず、副支部長二人も新しく就任し、更に支部内連盟長八人のうち五人が新しくなりました。

初めは手探り状態だった運営も、今では部長を中心に会員の協力を得て順調により良い方向に向かっております。お陰様で、全国都道府県弓道大会に富永剛志選手。全日本弓道遠的大会に仲田孝雄選手が全国大会に出場したのを始め県主催の大会において、たくさんの会員が輝かしい活躍をしております。これからも副支部長の村上節子、二見富士夫と共に東部支部会員の御指導を宜しくお願い申し上げます。

<競技・講習会>

●東部支部選手権兼県体予選会

平成 29 年 7 月 16 日（日）大宮公園弓道場
参加 161 名 ○個人／①新里 陵（久喜）②千葉脩平（久喜）③篠原春次（春日部）○県体出場選手／◇女子：上尾 E（山ノ内昭子、濱田直子、村上節子）春日部 A（島田いづみ、須田暢子、佐藤明子）春日部 C（脇本 緑、戸叶好代、神谷憲子）◇三段以下：幸手 D（今田光弘、奈良直子、新島 崇）春日部 G（成田和江、門脇三葉子、三田 明）上尾 G（宿岩三男、岩田光生、堀井剛）◇四・五段：久喜 F（千葉脩平、高野 聖、新里 陵）春日部 I（荒木寛樹、篠原春次、各務勝洋）春日部 J（遠藤則子、横山 茂、染谷幸夫）◇称号：春日部 M（八木修一、細野隆志、

二見富士夫) 上尾N(鈴木慎一、濱田 薫、高橋好照) 春日部N(川口光弘、穴口洋子、金子知義)

●東部支部道場対抗戦兼武道大会予選会

平成 29 年 9 月 16 日(土) 大宮公園弓道場
参加 135 名○東部支部道場対抗戦:①久喜市弓道連盟、②上尾市弓道連盟③幸手市弓道連盟○
団体戦:①上尾 E(大西いづみ、山ノ内昭子、村上節子)②久喜 E(金子美知子、高橋かおる、綾戸岩雄)③桶川 A(竹村銀郎、岩前敦之、福島和三)○個人戦の部(団体入賞の個人を除く):
①高野 聖(久喜)②内藤今朝雄(上尾)③木村鷹士朗(桶川)

○武道大会出場選手(男子) 木村鷹士郎(桶川) 高野 聖(久喜) 岩前敦之(桶川) 鈴木宗治(桶川) 新島 崇(幸手)

○武道大会出場選手(女子) 山ノ内昭子(上尾) 村上節子(上尾) 山崎朋美(北本) 金子美知子(久喜) 高橋かおる(久喜)

●第 1 回講習会(弐段以下の部、参・四段の部)

平成 29 年 5 月 7 日(日) 大宮公園弓道場 参加 49 名 講師:支部称号者 内容:基本体、入退場、本座および射位での作法、審査の要領での行射、矢の処理、射技指導、講義(弓道人の心得、弓具の取り扱い)

●第 2 回講習会(五段以上の部)

平成 29 年 6 月 18 日(日) 大宮公園弓道場 参加 25 名 講師:岡田義助教士、北原きい子教士、内容:今年度の指導方針説明、審査の要領での行射、持的射礼、一つの射礼、射技指導

●第 3 回講習会(弐段以下の部、参・四段の部)

平成 29 年 7 月 2 日(日) 大宮公園弓道場 参加 39 名 講師:支部称号者 内容:基本体、入退場、本座・射位での諸動作、審査の要領での行射、射法八節図解、射技指導、講義(弓道人の心得、審査統一基準、県内地方審査の改正)

●第 4 回講習会(高校生…一年生のみ)

平成 29 年 8 月 5 日(土) 大宮公園弓道場 参加 70 名 講師:支部称号者 内容:講師による演武、基本の動作研修、入場から退場までの審査の動作研修、射法八節の指導

●第 5 回講習会(四段以下の部)

平成 29 年 9 月 3 日(日) 大宮公園弓道場 参加 35 名 講師:戸塚藤代教士、支部称号者 内容:矢渡の介添え、基本体および射法・射技の基本(歩き方、跪坐および開き足、胴造り時の弓の末弭の位置、的のねらい)、射技指導、審査の要領での行射

県 南 支 部

支部長 森 正一

支部長就任に思う

支部長 森 正一

前任者の谷口保雄支部長の後を引き継ぐことになりました。

この時期に至っても、なんで私が??との思いが消えません。前々支部長の瀧上先生から谷口先生に支部長が代わる時、幹事長をと云う事でこの 5 年間務めさせて頂きました。

そして予期せず、県競技副委員長も同時に 5 年間、何とか大きな失敗もなく務めを果たすことができ、これで私の役員としての役目は終わり、後はゆつくりと余生を過ごそう…と置いていたところに支部長への就任命令です。

元々私は裏方としての仕事が好きなタイプで、色々と考え・手配して・何とかその行事・射会が収まった時に"よし・良かった!"と一人を感じるタイプの人間です。それが、人の前に出て挨拶も矢渡もです。毎回、頭はクラクラ、喉はカラカラ、心臓は 5~6ヶ所でバクバクです。でも、一度引き受けた以上出来る範囲で頑張らねばなりません。そうしなければいけないと思って今まで生きて来たつもりです。

ただ、県南支部役員の皆さんはじめ、支部の方々には迷惑を掛けざるを得ないのが気掛かりで…もうそんなに若くはないのでこれ以上の成長は望めませんが、畳の目の一つ・二つでも進める様に努力はします。

県役員の先生方並びに各支部長の先生方にもお世話にならなければなりません。

皆様に甘えながらの務めとなりますがよろしく願います。

<競技・講習会>

●平成 29 年度県南支部優勝杯戦

平成 29 年 6 月 10 日(土) 県立武道館弓道場 参加 114 名

<近的の部>団体戦①越谷 E(中村尚美・石部由紀夫・菊地利夫)②吉川花(宮崎なつき・五十川実千恵・木内暁子)③越谷 B(落合正規・下村友香・沢目洋史)

個人戦①木内洋一(吉川)②宮内 毅(越谷)③宮澤梢枝(川口)

<遠的の部>個人戦 ①宮崎正範(吉川)②昆

恵梨香（川口）③鈴木多恵子（吉川）

●平成 29 年度県南支部選手権大会

平成 29 年 7 月 17 日（月）県営大宮公園弓道場
参加 97 名

①木本将史（蕨）②廣川雅英（越谷）③中村尚美（越谷）

●第 1 回三・四段講習会

平成 29 年 4 月 8 日（土）

参加 46 名

講師：戸塚藤代、鹿野信恵、森 正一、豊田英子 各教士

●第 1 回弐段以下講習会

平成 29 年 4 月 15 日（土）県営大宮公園弓道場
参加 36 名

講師：古泉利昭、鈴木多恵子、大竹淑夫 各教士

●第 2 回四・五段講習会

平成 29 年 6 月 3 日（土）県営大宮公園弓道場
参加 37 名

講師：岡田義助、鹿野信恵 各教士

●第 2 回参段以下講習会

平成 29 年 6 月 4 日（土）県営大宮公園弓道場
参加 40 名

講師：根本武次郎、小川幸子、大竹淑夫 各教士

●県南支部高校生講習会

①平成 29 年 7 月 29 日（土）参加者 53 名
県営大宮公園弓道場 講師：大竹淑夫教士、

宮内 毅、稲見美枝子、三井秀美 各錬士

②平成 29 年 7 月 30 日（日）参加者 54 名

県営大宮公園弓道場 講師：森 正一教士、
加藤睦正、五十川英俊、星野里美 各錬士

※講習内容は各段位に応じて体配、射技指導等
を実施

●県南東部高校選手権大会

平成 29 年 8 月 19 日（土）県営大宮公園弓道場
審判員 見木徳三、荻谷道子 各錬士



画・松本 正

県 央 支 部

支部長 古泉 利昭

ねんりんピック秋田に参加して

さいたま市チーム

監督 浅子 好夫

9月8日さいたま市選手団159名は、8時30分大宮から秋田に向かいました。

9日、全国から集まった選手団10,000名は、地元の熱い歓迎を受けながら、県立中央公園陸上競技場に「秋田からつながれ！つらなれ！長寿の輪」をスローガンに、吹奏楽団の演奏をバックに、コーラスの歌に合わせて堂々の入場行進を行い、その姿は圧巻でした。



佐竹県知事、鈴木大地スポーツ庁長官らの挨拶、また聖火台への点火など、長寿社会を象徴する年配者の国体と呼ぶにふさわしい、なかなか経験できない開会式で、大いに感動しました。この後、弓道選手団の開会式も行われ、余興にダイナミックな大太鼓となまはげ太鼓の演武もありました。

10日からは、いよいよ大会の幕開けです。9時30分秋田県弓道連盟会長による矢渡しに続き競技がスタートしました。

参加は67チーム、さいたま市は29番立て11時50分からでしたが、神経を集中するため、もちろん食事はしません。

射の結果は1中が2名、3中が3名、計11中で、上々のすべり出しでした。埼玉県選手団の方々からの中ごとに大きな拍手をいただき大きな励みになったことはいまでもありません。

翌11日朝のスタートが、前日と違い決勝トーナメントがある関係で早まっています。さいたま市は前日より1時間早くスタートしました。

この日は決勝に進みたいという意思が働いたからかやや緊張が見られましたが、大前の軽込選手の四矢皆中に助けられ、計9中となり、2日間合計20中。やきもきしながら待ちましたが、無事予選を突破しました。

それから16チームによるトーナメントが始まりました。さいたま市チームは、1回戦熊本市との対戦です。決勝は一手で、選手を当初から1名入れ替えて臨みましたが、これが功をそうし、見事交代した鷹巣選手が皆中をして1回戦を突破しました。続いて2回戦は、静岡県チームと対戦しましたが、残念ながら敗戦となりました。

しかし、この後静岡県は今大会の優勝チームとなり、当方もやや気分が楽になったかと思えます。

後で選手の皆さんからは、監督は「くじ運が悪いかな」と揶揄されましたが、でもさいたま市はベスト8まで行きましたから、上々な戦いではなかったかと自負しております。

来年は富山県で、11月3日から6日まで「夢つなぐ長寿の輝き 富山から」のスローガンで大会が開催されます。

ぜひ60歳以上の方、積極的に参加し感動を味わいましょう。

<競技・講習会>

●県民総合体育大会選手選考会

平成29年6月24日(土)大宮公園弓道場
参加87名 43名選出

●武道大会選手選考会

平成29年7月23日(日)大宮公園弓道場
参加42名 16名選出

●夏季高校生(中学生)大会兼武道大会選考会

平成29年8月18日(金)大宮公園弓道場
参加583名

- 団体男子①岩槻商業(石井・鈴木・三浦)
- ②大宮南(武井・森本・唐澤)③浦和実業(藤原・伊藤・駒井)
- 団体女子①大宮南(関・二宮・中村)
- ②岩槻商業(塚田・中村・簗島)③与野(五十嵐・國井・斎川)
- 個人男子①三浦賢人(岩槻商業)
- ②黒木琢登(大宮南)③唐澤昂平(大宮南)
- 個人女子①塚田舞(岩槻商業)②中村莉那(大宮南)③関彩夏(大宮南)
- 中学生個人①阿部瑞希(市立浦和)②板谷菜里(市立浦和)③佐藤愛莉(市立浦和)

●県民総合体育大会選手最終選考会

平成29年8月24日(土)大宮公園弓道場
参加57名 40名選出

●四段以下講習会

平成29年4月29日(土)県立武道館弓道場
参加100名

講師：岡芹喜行教士、戸塚藤代教士、小島節子教士、平野博幸教士、清水繁子教士、鈴木昭一教士
講習内容：入退場、肌脱ぎ、櫛さばき研修、総評

●称号者講習会

平成29年4月30日(日)大宮公園弓道場
参加59名

講師：石川武夫範士
講習内容：石川範士による演武と解説、個別講評、射技指導

●三段以下講習会

平成29年5月27日(土)大宮公園弓道場
参加65名

講師：浅野有三教士、松澤かおり教士、中島美佐子教士、吉田恒男教士
講習内容：体配の解説・実技研修、八節の解説 射技指導

●三・四段講習会

平成29年5月28日(日)大宮武道館弓道場
参加46名

講師：岡田義助教士、山崎孝美教士、竹内せき子教士
講習内容：一手行射と講評、肌脱ぎ・櫛さばき研修、射技指導

●三段以下講習会

平成29年9月9日(土)大宮武道館弓道場
参加72名

講師：岡田義助教士、松澤かおり教士、池田浩次教士
講習内容：無段・初段体配の講話、射技指導と行射

●三・四段講習会

平成29年9月9日(土)大宮公園弓道場
参加43名、

講師：浅野光子教士、山中茂夫教士、由岐中美智江教士
講習内容：基本体・基本動作の研修、一手行射と講評、主任講師の行射を見取り稽古、射技指導と行射



西部支部

支部長 池谷 茂

私と弓道

朝霞市弓道連盟 吉田 沢美

朝霞市弓道連盟は、平成31年6月で20周年を迎えます。現在会員数は140名を超え30代～50代の会員が7割を占める若い連盟です。

日々、切磋琢磨して稽古に励んでいます。

私が、弓道を始めたのは高校の弓道部でした。3年間部活に励んだあとは、進学に就職、結婚に出産、子育て主婦業、仕事にと弓道とは離れた生活が続きまして。

十数年ぶりに縁あって弓道と再会、今の連盟に入会しワクワクした気持ちで弓を引き、いつの間にか弓道にのめり込んでいきました。家事に子育て、仕事に追われる日々でしたが、いろんな大会にも出させて頂き、審査にも挑戦していきました。

国体では、個人で引くというよりも仲間を信じて弓を引く大切さを学びました。また、この7月に錬士の称号を頂きました。何度も挑戦しておりましたが、今回は中てたいという気持ちではなく、自分に集中する気持ちで臨み、矢が自然と的に吸い込まれる感覚を味わいました。

ここまで来られたのも、ご指導して頂いた先生方、先輩方、弓友に支えられてのことと思ひ感謝の気持ちでいっぱいです。また、いつも応援してくれる家族にも感謝の気持ちでいっぱいです。

弓は、同じ様に引いていても決して同じ射が出来るとは限りません。一射一射気持ちを込めて、また新たな目標に向かって日々修練して行きたいと思ひます。

<競技・講習会>

●中西部親善射会

平成29年7月17日(月祝) 日高アリーナ

参加：西部86名、中部84名、計170名

①西崎明伸(中部:入間)②濱松晶彦(西部:和光)

③青田 昇(西部:朝霞)

的中率 西部36.0%、中部35.7%

●平成29年度西部支部読売新聞さいたま支局杯兼県体予選兼寿射会

平成29年8月6日(日) 所沢市民武道館弓道場

参加228名、(216チーム・個人参加9名)

○読売杯/①飯尾 弘(所沢) ②池谷 茂(上福岡)③室町純子(志木)○寿射会/◇寿Aの部:

①藤田 良(所沢)②吉本かをる(新座)③村上隆(上福岡)◇寿Bの部:①佐久間一哲(新座)

②下田 徹(所沢)③熊井紀一(所沢)○県体予選通過チーム/◇女子の部:朝霞B(馬場礼子・小林奈津美・太田昭子) 所沢I(嶺美智子・澤田靖子・三好啓子) 富士見C(阿佐美和子・刈谷千香・渡辺由紀子)◇三段以下の部:上福岡C(村上 隆・飯塚さくら・島村正男) 三芳D(成田 忠・猪鼻正夫・長嶋悟志) 三芳E(加納和則・重久幸司・里見典夫)◇四・五段の部:新座C(佐久間一哲・伊藤美知江・坂井孝嘉) 所沢D(藤田 良・廣瀬雅孝・川端由美子) 所沢N(中村徳海・関口研二・飯尾 弘)◇称号の部:所沢A(粕谷吉一・篠原一郎・永島英男) 所沢K(熊井紀一・平山夏子・下田 徹) 富士見G(野瀬武博・小原純子・平塚雄一)

●第25回西部支部選手権大会兼県武道大会予選
平成29年9月2日(土) 所沢市民武道館弓道場
参加161名(48チーム・中学生18名・個人0名)
○支部選手権/◇団体戦:①朝霞C(松久哲也・大村千尋・武田健太郎)②所沢I(奥富季乃・徳丸久美子・三好啓子)③所沢S(飯尾 弘・平山夏子・下田 徹)③所沢K(熊井紀一・篠原一郎・永島英男)◇個人戦:①藤原敬一(所沢) ②吉田沢美(朝霞)③平山夏子(所沢)○県武道大会選手/◇一般男子:藤原敬一(所沢)・杵山博文(所沢)・於保不二雄(富士見)・佐藤正博(富士見)・平塚雄一(富士見)◇一般女子:奥富季乃(所沢)・徳丸久美子(所沢)・吉田沢美(朝霞)・川端由美子(所沢)・平山夏子(所沢)◇中学生個人:田中希実・佐々木史弥・西澤智美・北條航生・沖園史華・熊井雪乃・稲垣壱琉・中村天香・稲葉唯花・尾形 智

●第2回支部講習会(三・四段/二段以下)
平成29年5月27日(土)
○三・四段:富士見市道場 参加33名、講師:鷹巣光子教士、青田 昇教士 内容:一手行射及び全体講評、射技指導。
○二段以下:大井弓道場 参加32名、講師:根本武次郎教士、斎藤和子教士 内容:体配の説明と範示、一手行射、射技指導、全体講評。

●支部女子講習会

平成29年6月18日(日) 新座市弓道場

●支部女子講習会
平成29年6月18日(日) 新座市弓道場

参加 38 名

講師：戸塚藤代教士、斎藤和子教士、福田ちえ子教士 内容：午前、一手行射、櫛さばき指導。午後、射技指導、仕上げ一手行射

●支部高校生夏期講習会

平成 29 年 8 月 9 日（水）所沢市民武道館弓道場 参加 77 名

講師：池谷 茂教士、加藤良子教士、吉本かをる教士 内容：午前、基本の姿勢と動作、入退場、行射の指導、射技指導、午後、入退場、行射の指導、射技指導、全体講評

●第 3 回支部講習会（二段以下）

平成 29 年 9 月 9 日（土）富士見市弓道場 参加 41 名

講師：森川寛人教士、平山夏子教士 内容：午前、歩き方、入退場、一手審査方式、午後、射技指導、仕上げ一手行射、全体講評

●第 4 回支部講習会（三・四段）

平成 29 年 10 月 1 日（日）朝霞市弓道場 参加 40 名

講師：鹿野信恵教士、花井俊則教士 内容：午前、歩き方、入退場、一手審査方式、午後、全体講評、射技指導、仕上げ一手行射

編集後記

今回60号の発行にあたり投稿記事を募集しましたが、投稿いただいたのは1通でした。支部長を通して突然の投稿依頼でしたので戸惑われたかと思います。投稿記事は自由なタイトルで毎号受け付けます。

また、別に『早気やもたれ、その他の癖を克服した人の体験談』を募集します。現在いろいろな癖に悩んでいる方がたくさんいると思います。弓道誌にも取り上げられたりしていますが、なかなか「これだ」という具体的な直し方はないようです。経験された方に実体験のお話を披露していただけないでしょうか。実際に「どうやって克服したか」体験を伝えてもらえれば、いま癖に悩む人に一筋の光になると思います。

編集長 高橋久雄



中 部 支 部

支部長 巖田 富男

弓道懐旧談 その2

審査の思い出

川越市弓連・元埼弓連理事長

内河 輝臣



昭和 49 年 7 月、弓道教室を修了し、直ぐに連盟に入会しました。当時はまだ川越武道館は建設されておらず、旧川越城本丸御殿の脇に瓦葺き屋根の由緒ある古い木造の 5 人立弓道場がありましたので、勤務が終わるとほとんど毎晩のように練習に通いました。

勧められるままに 9 月の秩父の審査を申込み、初段だから運動着で良いだろうと言われ、その積もりで体配の練習も続けました。

当時はまだ、一般人は弓道衣と袴は公式の大会のときに着用するくらいで、高校生もほとんどの学校が試合のときは、下は制服のズボンまたはスカート、上は白の体育着という服装でした。

審査の前日、仕上げの練習をしていると、普段あまり見えないやや厳しい五段の先生が見えて、「何、審査をその恰好で受ける？ それは駄目だ。私のを貸すからそれを着ていきなさい」と言われました。教室同期生がもう一人一緒に受けることになっていましたので、そこに居合わせた他の先輩からも、二人分の帯や足袋など弓道着一式を借りて、文字通りの一夜漬け、夜遅くまで着用の仕方の特訓となりました。

翌日、審査に行ってみますと、弓道衣でない受審者も何人かはいましたが、二人とも初段に合格もできましたし、弓道衣で良かったとあらためて先輩の心遣いに感謝した次第です。

次は、かなりお恥ずかしい思い出です。昭和 51 年 4 月に三段を受審したときのことで、当時はまだ開会式から弓道衣着用は厳しく言われておらず、普段着のまま、まず学科試験を受けました。午後になって術科審査の立順が迫ってきたので弓道衣に着替え、矢筒を開けたところ、何と中はカラッポ！！

真っ白になった頭の中を、このような心掛けでは今日は合格の資格はないので帰ろうか、い

や、折角来たのだから何とかならないか、いろいろな思いが駆け巡りました。

そうだ、生徒から矢を借りようと、顧問をしていた川越高校の生徒を探して頼んではみたものの、二人とも私よりはるかに身長が高く使えません。川越農業高校の比較的小柄な生徒に平身低頭して矢を借り、何とか審査を受けることができました。1本当たり合格はしましたが、今でも思い出すと冷や汗がでます。

帰途、道場に寄ってみると矢立に私の矢だけが4本、淋しく立っていました。

以来、審査の支度は怠らないようになりました。

<競技・講習会>

●支部初射会(兼 昇段・昇格祝射会)

平成29年1月15日(日)

日高アリーナ弓道場 参加116名

□個人戦 ①田中 修(鶴ヶ島)②齊藤顕一(坂戸)③野中和弘(坂戸)

●県民総合体育大会中部支部予選

平成29年6月25日(日)

日高アリーナ弓道場 参加119名

□女子の部 日高B(吉川、篠原、中山)小川A(村木、岡田、柴田)毛呂山A(酒井、水内、新井)
□三段までの部 入間B(清水、湯本、中北)鶴ヶ島A(小檜山、大山、松井)飯能B(金子、榊原、横田)

□四・五段の部 狭山D(松村、佐野、古澤)毛呂山C(後藤、森、秋本)鶴ヶ島B(野口、加藤、荒井)

□称号者の部 入間E(杉山、市川、金子)小川日高(安野、坂東、国分)東松山鶴ヶ島(保科、川手、那須)

●中部・西部親善射会

平成29年7月17日(日)

日高アリーナ弓道場 参加170名

□個人の部 ①西崎明伸(中部入間)②濱松晶彦(西部和光)③青田 昇(西部朝霞)

□団体の部 ①西部36.0%②中部35.7%

●支部選手権大会兼読売新聞さいたま支局長杯争奪戦兼武道大会支部予選

平成29年7月30日(日)

日高アリーナ弓道場 参加150名

□団体の部 ①入間D(杉山、下田、市川政子)②鶴ヶ島B(須永、松井、岡崎)③狭山A(武田、

木村、大石)

□個人の部 ①桑原 忍(川越)②須永猪喜知(鶴ヶ島)③市川政子(入間)

●支部講習会(1)

平成29年4月9日(日)

日高アリーナ弓道場 参加124名

講師:飯島千代子範士、岡芹喜行教士、
 畠田富男、那須充良各教士

●支部講習会(2)

平成29年7月9日(日)

日高アリーナ弓道場 参加65名

講師:市川政子、畠田富男、水岡 勇各教士

●支部講習会(3)

平成29年9月2日(土)

川越運動公園弓道場 参加32名

講師:西崎明伸、畠田富男、水岡 勇各教士

●特別講習会

平成29年9月17日(日)

入間市武道館弓道場 参加24名

講師:市川政子教士

弓道用語

初心者の皆さん、以下の弓道用語がわかりますか。

《道宝》

読み方:どうほう・・・中仕掛けを作る際、弦を捻りながら打ちつけて固めるための道具。戦国時代の弓術家・吉田重賢の号「道宝」に由来している。

《天鼠》

読み方:くすね・・・昔はこの字をあて用いた。

松ヤニや杉ヤニに菜種などの油脂を混ぜ、ヤニに火が入らないよう、弱火で長時間煮込んで作る。弦を作るときこれを塗り、また使用中の弦の補強に用いる。麻弦には大切なもの。

「手ぐすね引いて待つ」という言葉は一般的に、「用意周到に準備して時機を待つ」意に用いるが、弓を持つ左手にクスネを付けて、弓が滑らないよう握り方を固定し行射の準備をすることからきて

身嗜み (みだしなみ)

1. 身の周りについての心掛け、
頭髪や、衣類を整え、言葉遣いや、態度を
キチンとすること。
「----- がいい」
2. 教養として、仕事以外に、武芸・芸術 (能)
などを身につけること。
また、それらの技芸
「茶道は女の-----」
3. 武道の世界で、古来身だしなみに関する心
得として「葉隠聞書」がある。
佐賀藩士山本常朝が口述し、田代陣基が
筆録した武士の修養書で、「武士道とは死ぬ
ことを見つけたり」が有名
「士は毎朝行水月代髪に香をとめ、手足の
爪を切って軽石にてこすり こがね草にて
みがき、懈怠なく、身元のたしなみを専一
とし、尤も武具一通は錆を付けず、塵埃を
払い、磨き立てて召し置き候」がある。
女性たちのマニキュアを連想してしまう
ような記述だが、後を読むと、武士がこの
ように身元の「たしなみ」に意を持ちうる
のは決して風流のためではなく、見苦しい
姿で討ち死になどしたら末代までの恥辱だ
から、何時死んでもよいように気を配るの
だと付け加えている。
4. 身だしなみは
(1) その時、その場で、その人に、最もふ
さわしい姿をすると云うこと。TPO(時・
処・状況)の心得がこれにあたる。
(2) 例えば、料理人が髪・爪を伸ばしたり、
祝いの席に袖まくりのワイシャツで参加
するなど失礼である。
5. 就職などで会社訪問して、先方の担当者と
面会する場合、身なりをキチンとした人と、
頭髪や着付けをかまわない人を見た場合の
第一印象は大きく差があり、また面接者の

方も服装をキチンとした人はその会社の充
実性を推しはかれる。

6. 服装の基礎知識として
礼装・平服・仕事着 (作業着)・部屋着・
遊び着・寝間着・など。
常に「清潔・質素・機能性」をわきまえる。
(広辞苑 武道の礼儀作法 参考)

受審者稽古の際の心得

1. 大会・審査など、晴れの的を射るときの必
要条件として、前々より心がけるべき事
について
①その日为目标に稽古して、矢数ばかりか
けない。
②どんなことがあっても、定められた事 (教
本、八節、体配) を守り、一本一本当日
の気詰まる所 (周囲のことを考え気持ち
がのびのびしない) を思って、その時は、
このように打ち起こし、離れることを心
にかけ、それを想定して稽古すること。
③そうしておかないと、気持ちがいつもと
変わるので、平日の練習が出てこない。
中りも、なくなってしまう。
このことを考えて稽古するならば中りも出
てくる。
2. 甲矢こそ大切です。乙矢はあるに任せて大
切に。
 - ・ 甲矢は殊更大事、射損いのないように
 - ・ 甲矢を失敗したら、乙矢は折ってしまう
位の心得

教訓：『稽古を晴れとし、晴れを稽古とせよ』



注：今回の「身嗜み」については松沢先生の弓道
講座第3回の内容に先生が加筆されたもので
す。
(編集部)